

平成25年度教育予算

平成25年度の市の一般会計予算は、538億1,000万円です。このうち教育費は、10.3%の約55億3,200万円です。

教育目標に基づき、平成25年度的主要事業は以下のとおりです。

平成25年度主要事業より

【学校教育分野】

第1項目 確かな学力の向上

- (1) 確かな学力の育成に向けた研究・研修等の充実
- (2) 授業力の向上を目指した校内研究の推進
- (3) 学力調査の分析、授業改善プランの作成
- (4) ICTを活用した分かりやすい授業の推進
- (5) 地域や保護者に関わった学校づくりに向けた土曜日の活用

第2項目 豊かな心の育成

- (1) 人権教育、道徳教育の充実
- (2) 地域の人・自然・文化などを活かした体験学習の充実
- (3) あいさつ運動の推進
- (4) 教育センターの相談機能の充実
- (5) スクールカウンセラー・中学校全校配置

第3項目 健やかな体の育成

- (1) 子どもの体力・運動能力の向上（二校一取組）

第4項目 時代の要請に応える力の育成

- (1) 「はやね、はやおき、朝ごはん」を含む基本的生活習慣の定着
- (2) 地元産野菜の使用の推進
- (3) 食育推進事業の充実
- (4) 学校給食調理等業務の民間委託を新たに小学校1校で実施（委託実施校 小学校17校中10校に。中学校は8校全校にて実施済）
- (5) 外部指導員の配置
- (6) ICT活用教育の更なる充実に向けたメディアコーディネータ制度による学校支援
- (7) ICT学校教材備品の充実
- (8) 外国人等英語指導補助員の派遣
- (9) プレゼンテーション大会の充実
- (10) ひのつ子エコアクションの推進

第5項目 一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

- (1) 第2次日野市特別支援教育推進計画の実施
- (2) ひのスタンダードの更なる推進
- (3) （仮称）日野市発達支援センターと連携した支援体制の構築
- (4) 中学校でのリソースルームモデル事業を新たに1校で実施（事業実施校 中学校8校中2校に）
- (5) 第3次日野市特別支援教育推進計画の策定

第6項目 人間形成の基礎を培う幼児教育

- (1) ひのつ子カリキュラムの実施
- (2) 保育カウンセラーの活用
- (3) 教員等の研修の充実
- (4) 時代にあった特色ある幼稚園づくりの検討

第7項目 連携を生かした特色ある学校づくり

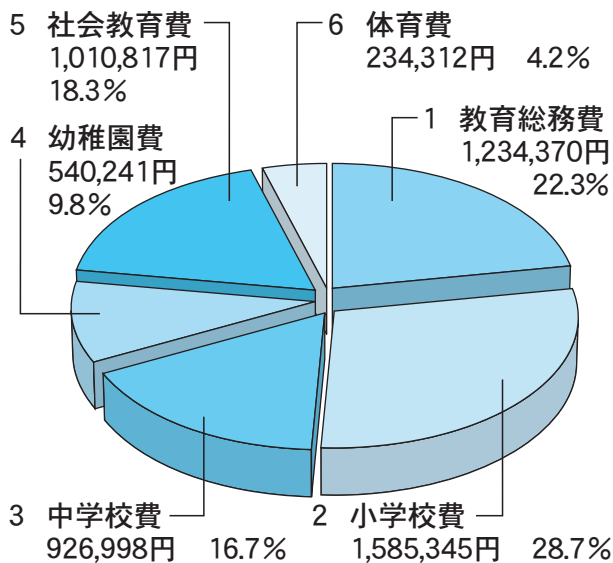
- (1) 日野第一中・日野第二中・日野第三中プロジェクトの推進
- (2) 部活動の活性化
- (3) 保・幼・小・中連携の取組
- (4) 研究奨励事業による授業研究の推進
- (5) 職場体験の受け入れ先の拡充
- (6) 定員制導入による「選べる学校制度」の推進

第8項目 子どもの安全確保

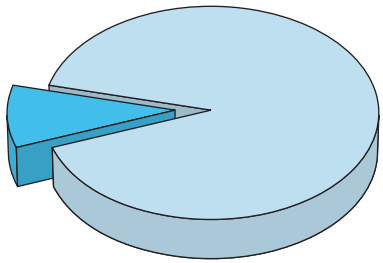
- (1) スクールガードボランティアによる下校時、放課後の安全確保
- (2) 学校への不審者侵入対策として学校安全管理員の配置
- (3) 日野警察署による交通安全教室の開催
- (4) 通学路の安全対策整備計画に基づく整備の実施
- (5) 第9項目 信頼される学校経営と教職員の養成
- (6) 学校評価の実施・学校Webサイトでの公開
- (7) 研究奨励事業の充実
- (8) 教員研修の充実、e-learning研修の実施
- (9) 第10項目 安全で快適な学校施設の展開
- (10) 安全でおいしい水プロジェクトの実施（小学校2校、中学校1校）（事業実施校 小学校17校中13校、中学校8校中4校に）
- (11) 日野第二中学校の校舎改築等に向けた基本設計委託の実施
- (12) 日野第五小学校の校舎増築に向けた基本設計委託の実施
- (13) 小中学校のトイレ改修の実施（小学校2校）
- (14) 第11項目 ニーズと課題に応える教育行政の推進
- (15) 登校支援「日野サンライズプロジェクト」の推進、わかば教室の運営
- (16) 教育センターの調査研究及び学校支援の推進
- (17) 第2次日野市学校教育基本構想の策定

教育費の予算構成

教育費総額 5,532,083千円



教育費総額 5,532,083千円（10.3%）



日野市の一般会計予算額 53,810,000千円

ある学校づくり

【生涯学習分野】

生涯学習の振興

- (1) 生涯学習推進計画の策定
- (2) 各種生涯学習事業の整備
- (3) 学校支援ボランティア推進協議会事業の円滑な運営
- (4) 日野市立八ヶ岳高原大成荘の運営の検証および指定管理者の選定
- (5) 文化財に関する調査・保護・啓発と、相当するものの文化財指定
- (6) 中央公民館とその周辺地域にある公共施設群のあり方を検討するための基礎資料づくり
- (7) 市民・利用者とともに公民館基本構想・基本計画の推進
- (8) 公民館まつり・ひのアートフェスティバル事業の充実
- (9) 公民館独自のホームページを活用した広報活動の充実
- (10) 第2次日野市図書館基本計画に基づく事業の推進
- (11) 第2次子ども読書活動推進計画に基づく事業の推進
- (12) 日野宿発見隊事業の推進
- (13) 図書貸出管理システム更新に向けた準備と実施
- (14) 市立図書館と学校図書館の連携推進
- (15) 寄贈資料受入推進・不要資料の頒布事業の準備、推進
- (16) 図書館開設50周年（平成27年）に向けた、記念行事の準備
- (17) 郷土資料館事業
- (18) 幻の真慈悲寺調査研究事業の推進と観光事業との連携
- (19) 日野市市制施行50周年を迎え、関連部署・市民との協働による調査研究の推進と特別展示の開催
- (20) 郷土資料・古文書等の緊急調査収集対策
- (21) 農業体験・文化伝承事業等の充実
- (22) 日野の自然と歴史・民俗に関する調査研究の推進と市民に親しまれる事業の展開
- (23) 学校教育活動への積極的支援

感性を大切に



日野市公立小学校校長会 会長
（潤徳小学校 統括校長）
竹山 弘志

今、子供たちに大切にしてほしいことは、感じる心をもつということです。人がものを考えたり行動したりするきっかけになるのは、何かに心を動かされることがきっかけになるからではないでしょうか。学習指導要領で子供に付けさせる力として、「生きる力」が強調されています。その力の源の一つは豊かな感性だと思っています。感性があれば、例えば、日野市制施行50周年を契機として、日野市の豊かな自然や先人たちの生き方などに思いを馳せることで、日野市が歴史と清流のまちであることまで実感できるでしょう。これから先の50年を生きて、社会の中軸となる今の子供たちが、豊かな感性をもち、全ての人が互いに心地よく生活できる社会の創造をめざすことを願っています。

中学校の窓

の中学校
紹介

〔ホームページも、開いてみてください〕

日野市の各小中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。

今号では、中学校の様子を紹介します。

紹介する内容は、各校のホームページや学校便りの入口です。詳しくは、各校のホームページをご覧ください。

(学校課)

日野第一中学校

統括校長 吉村 正久

ひまわりの心



本校の校章はひまわりをデザインしたものです。太陽に向かって咲くひまわりの姿は、理想に向かって進む中学生の力強い姿を表します。また、ひまわりは多くの花卉が集まって一つの大きな花をつくっていることから、本校生徒の一人一人が協力して学

校生活を充実させていく姿を表します。

本校は、ひまわりの校章に込められた意味と願いを受けて、保護者の皆様、地域の方々と共に協力しながら、ひろい心、まけない心、わかちあう心、りそうをもとめる心を育んでまいります。

本年度、本校は引き続き「一中プロジェクト」を進め、土曜日補習(国語、数学、英語)を実施し、学力の向上、部活動の充実に取り組んでいきます。また、本年度よりリンスールームを開設し、学びの二一



新入生歓迎

<http://www.j-hino1.hino-ky.ed.jp/>

日野第二中学校

校長 尾形 斉

『自主・自律・思いやりの心』の育成をめざします。



＊他を大切にし、自分を大切にし、自校を誇れる学校づくりが大きな目標です。

そのために中心となるのは

一、基礎学力の向上をめざすこと。(授業の工夫、補習授業の充実、漢検・英検の支援体制の充実等)

二、規範意識・正しい判断力・我慢力・素直な心・思いやりのある豊かな心を身に付けさせること。(道徳授業の充実、全校道徳の実施、特別活動の充実等)

＊本校の特色ある教育

・心と体を育む『生き方教育』の充実：食育教育の推進(農作業体験・エコクッキング・弁当の日・食材学習・食育バーティー等)

・学力向上の充実：五教科による教科教室型の授業、漢検・英検への取り組み推進、テスト前の補習の充実等

・地域との連携教育の充実：地区育成会との連携(三世代の集い、初日の出ふれあいマラソンの参加等)

＊日野二中は地域と歩む、信頼される学校をめざします。



生徒会による地域清掃

<http://www.j-hino2.hino-ky.ed.jp/>

七生中学校

校長 中村 宏

校庭の湧水のように活力あふれる学校です



七生中では目指す学校像として、「生徒の健康・安全を守り、生き生きとした毎日を送れる学校」「生徒の学力を伸ばすために、魅力ある質の高い授業を行う学校」「生徒一人一人を大切に、よく目が行き届く学校」を掲げています。特に、人とかかわる力を身に付けさせる学校として「あいさつ運動」などに全校で取り組んでいます。その成果として来校者や地域の皆様から「七生中の生徒はよく挨拶ができていますね」というお褒めの言葉も頂けるようになりました。

また、生徒たちは落ち着いた雰囲気の中で日々の学習や学校行事、部活動に励んでおり、教職員もより良い授業を展開するため、都の「スポーツ教育推進校」「理数フロンティア校」の指定を受け、研究実践に取り組んでいます。



新入生歓迎会

<http://www.j-nanao.hino-ky.ed.jp/>

日野第三中学校

校長 石村 康代

生徒にとってよりよい教育環境をつくる学校



よい教育環境には、指導力を高めるために常に努力する教員、生徒のために絶大な協力をくださる保護者・地域の皆様などの人的環境、充実したICT設備に代表される物的環境などがあります。また、生徒たちが互いに学びを尊重し合う姿勢とその基盤をなす「はじめ」ある学校生活も重要な要素です。生徒たちは、三中の建学の精神である「自主・自立」を誇りにし、大切に守っています。その意味で、三中はよい教育環境にあるといえます。

「三中プロジェクト」により毎日補習教室、英検教室を実施しています。英検では、登録者で受験し合格する生徒が9割近くいます。また、昨年度リンスールームモデル校となり、リンスールームも軌道に乗りました。三中を支えてくださる全ての方々のおかげと感謝しています。これまでのよい伝統を継承・発展・充実させて「よりよい教育環境」をつくり、よりよく生きようとする生徒を育てていきます。

<http://www.j-hino3.hino-ky.ed.jp/>

日野第四中学校

校長 須藤 昭人

「元氣なあいさつの響く学校」



四中では「元氣なあいさつ」が良き伝統として受け継がれています。生徒会が中心となったあいさつ運動も実施されます。また、五月の「体育の部」と十月の「合唱の部」として実施される奉花祭では、上級生がリーダーシップを発揮します。本校の教育目標のひとつである「他を思いやり、責任ある行動をとる人」を目指し、よりよい校風を築くために、協力しながら行事を作り上げていきます。生徒は毎日の授業を大切にするとともに、部活動や地域の活動等にも積極的に取り組んでいます。今年も学校・家庭・地域の連携を深めながら「楽しく安全で、あいさつのできる学校」を目指していきます。

「元氣なあいさつ」が良き伝統として受け継がれています。生徒会が中心となったあいさつ運動も実施されます。また、五月の「体育の部」と十月の「合唱の部」として実施される奉花祭では、上級生がリーダーシップを発揮します。本校の教育目標のひとつである「他を思いやり、責任ある行動をとる人」を目指し、よりよい校風を築くために、協力しながら行事を作り上げていきます。生徒は毎日の授業を大切にするとともに、部活動や地域の活動等にも積極的に取り組んでいます。今年も学校・家庭・地域の連携を深めながら「楽しく安全で、あいさつのできる学校」を目指していきます。

<http://www.j-hino4.hino-ky.ed.jp/>

三沢中学校

統括校長 正留 久巳

「頑張る時はいつも今」



三沢中の目指す生徒像は、「①自ら学び、考え、生き生きと活動する生徒 ②豊かな心を持ち、思いやりのある生徒 ③自らを鍛え、心身共に健康な生活ができる生徒」です。その実現のために、自ら学び、自ら考え、判断し、表現し行動できるなど生きる力の育成のため、学ぶ姿勢づくりを重要な視点とし、基礎・基本を身に付けさせるよう鍛え可能性を伸ばす学校を目指しています。生活指導は生き方の基盤づくりとして、あらゆる機会を捉え指導し、社会の一員としての態度の育成をすすめています。「頑張る時はいつも今」を合言葉に、学習に部活動に全力で取り組む姿勢を大切にしています。



【運動会：大ムカデ】

<http://www.j-misawa.hino-ky.ed.jp/>

大坂上中学校

校長 高橋 清吾

「学び場 ホワイト&ブルー坂中」として



「学び場」をつくるためには教員の授業力の向上が大切です。今年度は「分かる授業」を目指して、ICT機器を活用しながら、教員の持ち味を生かした授業を展開します。

また、生徒に「授業を大切にする姿勢」を育て、落ち着いた学習環境の中で真剣に学ぶ環境を作り上げていきます。そのために授業規律とルールを守ることを徹底していきます。

さらに「学び場」を学び場として機能させるためには「お互いに学び合う関係」が大切となります。授業での言語活動は先生と生徒、生徒と生徒の関係を密にしていこうと考えています。コミュニケーションと人間関係の基盤をつくるのは挨拶です。しっかりと元氣な挨拶ができる生徒の育成を目指します。これらを中心に「学び場 ホワイト&ブルー坂中」を目指していきます。

<http://www.j-ohsakaue.hino-ky.ed.jp/>

平山中学校

校長 秋山 譲児

最高に楽しい日々を



日々の小さな努力の積み重ね、怠らず継続することで確実に人は成長する。平山中学校は、「当たり前のことを、当たり前にできる学校」を合言葉に、教育実践を積み重ねていく。

継承・発展させてきた『学校文化』の中で、生徒たちは健やかにたくましく育ち、卒業時にこんな言葉を残してくれている。

○「本気で精いっぱい頑張ることが、やがて力になることを学んだ。」

○「最後の最後まで、絶対にあきらめない気持ちで、この経験は目標に向かっていく強さへと変わった。」

○夏の大会で負けた。全力を尽くした。後悔はしなかった。でも、涙があふれた。

○受験。正直つらかった。親の温かさが身にしみた。精一杯やった自分を誇りに思う。

卒業生は、「三年間、最高に楽しい日々をありがとうございました。」と言って巣立っていく。



美しくあれ、健やかにあれ(体育祭)

<http://www.j-hirayama.hino-ky.ed.jp/>

新しい校長先生の紹介



新しく着任及び転任された校長先生を紹介いたします。

個性が輝く子供が 主役の楽しい学校に

日野市立七生緑小学校
校長 加藤 敏行



内田清校長先生の後任として、
日野第七小

学校より着任いたしました。

校歌に「空にひびく歌声は
はるかな山なみこえていく
たかな自然のびのびと 七生緑
のなまたち…」と歌われてい
ますように、豊かな自然環境の
もと、歌声が美しく優しく元氣
な子供たちと出会えた喜びでい
っぱいです。

私たちは子供の声に耳を傾け
一人一人の心を大切にしながら、
「分かる授業、組織的な生活指
導、子供と共に自らも成長する
教師」等を柱に、子供たちの夢
の実現に向け一歩一歩前進して
いきます。

これまでの伝統を大切にしつ
つ、保護者・地域の皆様と共に
個性が輝き子供が主役の楽しい
学校づくりを目指しますので、
ご支援・ご協力をよろしくお願い
いたします。

よりよい校風を築く

日野市立日野第四中学校
校長 須藤 昭人



千葉正校長先生の後任として、
八王子市立

恩方中学校よりより着任しまし
た。生徒数720名の大きな学
校は初めてです。

私は、それぞれのご家庭に
「家風」があるように、それぞ
れの学校にも「校風」があると
考えます。例えば四中の校風の
ひとつは「元氣なあいさつ」で
す。きまりがあるからあいさつ
をするのではなく、生徒自身が
その意義を理解し、すすんで行
えることが大切です。他にも、
生徒の学力や体力を向上させる
ための取り組みも行っていきた
いと思います。

四中の校風をさらに向上させ
るために、保護者や地域の皆様
方のご支援とご協力を、よろし
くお願いします。

伝統を受け継ぎ 地域と共に

日野市立大坂上中学校
校長 高橋 清吾



ご転出さ
れた岡部秀
敏校長先生
の後任とし

て、日野第一中学校より着任し
ました。日野市では仕事の質と
場は変わりましたが、日野第二
中に3年間、日野第一中に副校
長として5年間お世話になりま
した。

大坂上中に着任してから、
「こんにちは」とあいさつする
生徒に多く出会いました。地域
の方も様々な形で学校を支援し
てくださり、PTA役員が生徒
のために愛着をもって活動して
いることも知り、改めて地域と
一体となって教育活動を進めて
いることを実感しました。

これからも、地域、保護者と
連携して、伝統ある大坂上中学
校の良さを受け継ぎ、さらに、
地域社会で活躍できるような生
徒の育成を目指して良い学校づ
くりを励みます。ご支援・ご協力
よろしくお願いします。

少年少女消防クラブフrendシップ2013

日野消防少年団が「特に優良な少年消防クラブ」を受賞！



少年消防クラブの育成発展に寄
与することを目的として、少年少
女消防クラブフrendシップ20
13が開催され、「特に優良な少
年消防クラブ」として日野消防少
年団（小学2年生から中学生まで
の33名の団員）が表彰されました。
少年消防クラブとは、防火・防
災思想の普及を図ることを目的と
して、少年少女で結成されている
自主的な防災組織で、平成24年5
月1日現在、全国4,749クラ
ブ、約42万人のクラブ員が活動し
ています。今回は、全国の少年消
防クラブのうち「特に優良な少年
消防クラブ」として日野消防少年
団が選ばれ、代表団員が東京消防
庁長官より表彰状（楯）と表彰旗
を授与されました。
（庶務課）

日野市メール配信サービス



あらかじめ登録していただいた
携帯電話やパソコンのメールアド
レスに、不審者出没や災害発生等
の情報を配信するサービスです。
また、お子様の通う学校や幼稚
園、学童クラブからの情報も受け
取れます。

提供する情報

左記から受信を希望する情報をお
選びいただけます。

- ① 不審者情報
- ② 学校・幼稚園生活情報 および
学童クラブ情報
- ③ 防災安全情報
- ④ 高齢者行方不明情報
- ⑤ 障害者行方不明情報

登録手順

- ① 左記の登録用メールアドレスに
空メールを送信します。
- ② 数分後に返信メールが届くのでメ
ール内のURLをクリックします。
- ③ 登録フォームが表示されるので
質問項目に答えて『確認』ボタ
ンを押してください。
- ④ 確認ページで間違いがなければ
『登録』ボタンを押してくださ
い。数分後に登録完了メールが
届きます。

削除手順

- ① 削除用メールアド
レスに空メールを
送信します。
(hino-del@mlreg.tricorn.net)
- ② 数分後に登録削除完了メールが
届きます。

登録内容更新手順

- ① 更新用URLにア
クセスし、自分の
メールアドレスを
入力します。
(https://blue.tricorn.net/
hino-city/pw1.x)
- ② 返信メールが届くのでメール内
のURLをクリックします。
- ③ 現在の情報のチェックを外し、
情報のほしい項目にチェックを
入れ直します。

※登録・削除・更新の手順は、日
野市ホームページでもご覧いた
だけます。

利用条件・注意事項等

- ・ご登録いただいた情報は本サー
ビス以外の目的では使用しま
せん。
- ・本サービスは契約業者のシステ
ムを利用して行います。ご登録
いただいた情報は、業者が24時
間有人監視しているデータセン
ターに保管されます。
- ・情報提供料は無料ですが受信料
金等は自己負担となります。
- ・メールの遅延等が生じても一切
の責任は負いかねます。
- ・配信したメールが連続して届か
なかった場合は自動的に登録を
解除することがあります。

（庶務課）

登録用メールアドレス hino-reg@mlreg.tricorn.net

バーコードリーダー付き
の携帯電話の方はQRコード
を読み取ってそのまま
送信。



※お使いの携帯電話で「指定受信」をさ
れている方は空メール送信前に、mail-
haisin@city.hino.lg.jpというアドレ
スを受信可能に設定してください。

男子14位・女子18位 総合16位！ 第4回 中学生「東京駅伝」大会結果報告

3月20日(水・祝)に第4回中学生「東京駅伝」大会が調布市の味の素スタジアムで開催されました。

日野市代表選手は「チームで全身全霊をかけて駅伝に臨む」「仲間を信じて最後まであきらめずに」を目標として、選手一人一人が全力で走り抜き、たすきをつなげました。

その結果、男女合計で昨年のタイムを51秒縮めることができました。参加50チーム中、男子14位、女子18位、総合16



(学校課)

《みんなの力で 子供たちを支えましょう！》

小学校では、子供たちが健やかに成長するために、学校支援コーディネーター(学校とボランティアの調整をする方です)が学校からの依頼を受けてボランティアと協力し、子供たちの学校生活を支えています。現在支援として行なわれている内容は、「登下校の見守り」、「本の読み聞かせ」、「花壇の整備」、「学校行事のお手伝い」等があります。

絵を利用するなど子供たちがとても楽しみにしています。環境支援では、学校の花壇の雑草を取り花が植えられ、綺麗に整備されています。

また登下校の見守りでは地域の老人会の方が子供たちの見守りをしてくださっています。参加されて

いるボランティアの方は子供たちの元気な挨拶が楽しみだそうです。

学習支援として英語の授業にゲームを盛り込みながら行っていたり、読み聞かせに人形や影



英語授業



登下校の見守り

あなたも学校支援ボランティアとして参加してみませんか！【問い合わせ】生涯学習課

土館展「日野の自然」標本・写真展 郷資企 展示を見たら、さあフィールドへ

野山を散策するのが心地良い時期となりました。野外で見かける草花や鳥、昆虫などについて少し知識があると、歩く楽しみも増します。郷土資料館の春から夏にかけての企画展では、市内で観察できる生物を中心に取り上げ、皆様のフィールド散策へいざないます。

「貴重植物」の展示と、「鳥と風景」、「昆虫とシダ」の2部構成となっています。会期が異なりますのでご注意ください。

貴重植物

(5月3日から7月28日まで)
(資料保護のため標本資料の入替えを行います。第1期5月26日まで、2期6月23日まで、3期7月28日まで)

東京都でみられる野生生物のうち絶滅した、または絶滅するおそれのある種を調査登録したレッドリスト(2011年4月修正)によれば、植物では日野市の属する南多摩地区ですでに49種が絶滅し、154種が絶滅の危機にあるとされています。

今回の展示では、このレッドリストに登録されている植物のうち、日野市域で採集された30種の押し葉標本と野外で撮影した写真を紹介します。展示する標本は日野の自然を



アズマイチゲ

野鳥と風景

(5月3日から6月23日まで)
四季折々に見かけたり鳴き声を耳にしたりする野鳥を写真やはく製、バードカービングで紹介いたします。あわせて、七生丘陵の風景も。



コゲラ

昆虫とシダ

(6月25日から7月28日まで)
子供たちが大好きな昆虫。一方、とっても地味で目立たないシダ。(ワラビやゼンマイもシダだって知ってましたか?) 対照的な資料を取り上げて自然の

『ひのっ子読書の日 2013』開催

4月20日(土)「子ども読書の日」としてかんおはなしピクニック2013」を多摩平の森ふれあい館で開催しました。

子供たちに本と読書に親しんでもらおうと、おはなし会や読書クイズ・かるた大会、工作など乳幼児から青少年までを対象に盛沢山のプログラムで行いま



(図書館)

奥深さを学びます。

(資料提供 七生丘陵調査団)
今回の企画展に合わせ、講座を2つ実施します。興味を持った方、郷土資料館へ申し込みを。TEL 592-0981

①「日野の貴重植物について知り、簡易標本を作ってみよう」

日野の貴重植物について様々な内容を学習した後、簡易押し葉標本を作成し、ポストカードやしおりにして持ち帰ることができます。どちらかみの参加も歓迎します。

(共催 環境情報センター)

A 講演会&ギャラリートーク

6月16日(日) 10時〜正午
募集20人

B 簡易押し葉標本作成会

6月16日(日) 13時30分〜15時30分 募集10人(親子参加歓迎)▼A・Bいずれも郷土資料館集合・解散▼参加費無料

②「昆虫を観察・採集し、標本を作ってみよう」

ラベルをつけ、簡易標本箱に入れた本格的な昆虫標本を作成します。これで夏休みの自由研究はバッチリ! C、D2回で標本が完成しますので、2回とも参加できる方を優先して受付します。

C 観察・採集・標本作成会

7月21日(日) 10時〜15時、雨天の場合は7月28日(日) 募集10人 昼食、捕虫網、虫かご持参

D 標本完成会

8月3日(土) 13時〜15時
Cが雨天で7月28日(日)になった場合には8月17日(土) 募集10人(C・Dいずれも

洋画家 小島善太郎「百草画荘」 日野市立小島善太郎記念館が開館します

日野市百草で晩年を過ごし、日本洋画史に多大な功績を残した「洋画家 小島善太郎」。このたび、ご遺族から住まいやアトリエ、残された作品等約80点が市に寄贈され、日野市立小島善太郎記念館(愛称 小島善太郎「百草画荘」として、一般に公開されます。画伯生前の雰囲気を感じ、可能な限り残しつつ、晩年を中心とした作品約30点とさまざまな遺品などを展示します。

公開開始日 5月25日(土) 午後1時から

場所 日野市百草77番地(京王百草園そば)

開館日 毎週土曜・日曜・祝日

開館時間 午前10時から午後4時まで(夏季は5時まで)

観覧料 大人300円 小人(小中学生) 100円

交通 ①京王線・百草園駅下車徒歩20分

②京王バス：三沢台路線(高幡不動駅・聖蹟桜ヶ丘駅)「南百草」バス停から徒歩5分 ※百草園駅から当館までの間には途中急坂があります。



一つの桃



石碑と主家



アトリエ

※駐車場はございません。公共交通機関のご利用をお願いいたします。※開館当初は混雑が予想されます。館内は定員制とさせていただきますのでご了承ください。※15名以上の団体でお越しの場合は事前にご連絡下さい。お問合せ先 まちづくり部文化スポーツ課 (☎042-585-1111 内3811・3812)

「洋画家 小島善太郎」って?

小島善太郎は1892年(明治25年)に生まれた洋画家です。不遇な少年時代に画家を志し、陸軍大將中村寛の支援のもとで絵画の研鑽に励み、1922年(大正11年)にはフランスへ留学しました。帰国後は滞欧時代の仲間たちと共に日本の洋画界に新風を巻き起こし、1930年(昭和5年)には独立美術協会を創立しました。その後も日本洋画界の重鎮として意欲的な創作活動を続け、1984年(昭和59年)に91歳で他界しました。

参加は小学生以上、小学3年生以下は保護者同伴、保護者は定員に含みません。▼郷土資料館集合・解散▼2日間で参加費500円